

訓練計画説明に係る面談時の確認事項

確認事項	回答
<p>全般</p> <p>○訓練計画<資料> 【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け ・ 今年度訓練の目的・達成目標 ・ 主な検証項目 ・ 実施・評価体制 ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準 ・ 訓練シナリオ <ul style="list-style-type: none"> － プラント運転状態、事象想定、スキップの有無等 － WEB 会議システム使用不能状態の場面設定の取り入れを検討すること ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> － COP 様式 【2】【3】【4】【5-1】【5-2】 － 緊対所レイアウト図、要員の役割分担 【6】【7】 － ERC 対応者への情報フロー図 【8】 － ERC 対応ブース配席図、役割分担 【6】 － ERC 書架内の資料整備状況（資料一覧）【1】 <p>○評価指標のうち、主に [P]、[D] に関する内容<資料></p> <p>⇒詳細は以下参照</p> <p>○事業者と ERC の訓練コントローラ間の調整</p> <p>⇒詳細は以下参照</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <資料>となっているものは面談資料として提示頂くもの（訓練シナリオ（非提示型の場合）、個人名連絡先など、必要な箇所にはマスキング処理をお願いします。） ・ COP：共通状況図のこと。事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略、戦略の進捗状況について認識の共有のために作成される図表であって、各社で様式や名称は異なる。 	<p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> 【1】 令和 5 年度 事業者防災訓練実施計画 【2】 初期情報シート 【3】 施設状況シート 【4】 戦略シート 【5-1】 放射線等モニタリング計画シート 【5-2】 放射線等モニタリング時系列シート 【6】 緊対所レイアウト図 【7】 原子力防災組織（原子力事業者防災業務計画 別図第 1） 【8】 ERC 対応者情報フロー図 【9】 訓練対応実績・スケジュール 【10】 （参考）令和 4 年度訓練終了後 PDCA 計画

<p>指標 1：緊急時対策所とERCプラント班との情報共有</p> <p>○事象の進展や事故収束戦略・予測進展の変更といった状況変化時や、適時に施設全体を俯瞰した現況について、テレビ会議システム等での発話等により説明ができたかを評価の観点とする。</p> <p>○前回訓練を踏まえ、情報共有に係る体制・運用、情報提供のための説明資料等について見直した点、また、確実な情報共有を行うために取り組んだ点（マニュアル改善、教育・訓練等）を確認する</p> <p>○事業者が定めるリエゾンの役割を確認する ※訓練時にリエゾンを派遣するかは事業者の訓練計画に任せる</p> <p>○COP の活用（準備している場合） COP 様式を確認する。</p>	<p>○ 施設状況シート、戦略シート、放射線等モニタリング計画シート、放射線等モニタリング時系列シート、警戒事態該当事象発生連絡、警戒事態発生後の経過連絡、10 条通報及び 25 条報告を FAX で送付し、施設状況と応急復旧の進捗、事象進展予測等について ERC と緊急時対策所間で情報共有を行う。 緊急時対策所の ERC 対応者は上記 FAX 及び備え付け資料に基づき適時に状況の説明を行う。</p> <p>○ 令和 5 年度事業者訓練実施計画書 【1】 第 7 項の No. 1、3 に示す。</p> <p>○ 原子力災害発生時に緊急時対策所からの情報は ERC と緊急時対策所間の WEB 会議システム、電話、FAX により伝えるが、情報伝達を支援するため、当社施設・設備、緊急事態勢、発生しうる原子力災害の特性に関する知識を有したりエゾン 2 名を ERC に派遣する。</p> <p>○ COP 様式 【2】【3】【4】【5-1】【5-2】</p>
<p>指標 2：確実な通報・連絡の実施 (①FAX 等の通報)</p> <p>○特定事象発生の確認から通報するまでの目標時間の事業者の設定根拠を確認する。</p>	<p>○ 原子力事業者防災業務計画に定める通り。「原子力防災管理者は、別表第 1－3 の事業所内での事象の発生について通報を受け、又は自ら発見したときは、直ちに、様式第 7－1 に定められた通報様式に必要事項を記入し、別図第 2－2 に定める通報経路により、通報先にファクシミリ装置等を用いて一斉に送信する。」</p>

<p>(②通報文の正確性)</p> <p>○通報 FAX 送信前の通報文チェック体制、通報文に誤記等があった際の対応を確認する</p> <p>○発出した EAL が非該当となった場合の対応を確認する</p> <p>(③EAL 判断根拠の説明)</p> <p>○前回訓練を踏まえ、EAL 判断根拠の説明について、確実な説明を行うために取り組んだ点（マニュアル改善、教育・訓練等）を確認する</p> <p>(④第 25 条報告)</p> <p>○25 条報告の発出タイミングの考え方を確認する</p> <p>○訓練事務局側が想定する、今回訓練シナリオ上の 25 条報告のタイミング、報告内容（発生事象と対応の概要、プラント状況、放出見通し/状況、モニタ・気象情報など）、回数（訓練シナリオ中の記載されているか）を確認する</p> <p>なお、①及び④の通報文は、送信操作だけではなく送付先に着信していない場合は「確実な通報・連絡の実施」に該当しない。</p>	<p>○ 通報 FAX 文の最終チェック、記載漏れ等が無いかについては副本部長（又は原子力防災本部補佐要員）が確認を行う。仮に通報内容に誤記等があった場合には、マニュアルに記載の手順で訂正報を作成して送付し、電話での着信確認の際に訂正報である旨を連絡する。</p> <p>○ 発出した EAL に関連するモニタリング値が EAL の通報基準を下回った場合、本部長が EAL 非該当の判断を行い、その旨を 25 条報告で報告する。（今年度訓練では非該当の判断まで行わない予定）</p> <p>○ EAL 判断のプロセスや重要性について年次の教育に追加した。また、EAL 判断フローに記載する EAL 判断時刻を副本部長が責任をもって記載して提供する仕組みとし、ERC 対応者は前回訓練に引き続き、EAL 判断フローを活用して簡潔に必要な事項を説明する。</p> <p>○ 25 条報告の発出のタイミングは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 10 条通報後の状況報告と事象の進展に応じて 30 分間隔を目安とした経過報告 <p>○ 今回の訓練で想定している 25 条報告は以下の 3 回を想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ■■■ 発令後のプラント状況、放出見通し、モニタ・気象情報（10 条通報後 15 分以内を目標） ➢ ■■■ 発令後のプラント状況、放出見通し、モニタ・気象情報（10 条通報後 15 分以内を目標） ➢ 応急復旧の経過報告（応急復旧完了に係る内容）
<p>指標 3：通信機器の操作</p> <p>○通常使用する ERC との通信機器に支障が発生した場合の代替手段及び移行操作の説明並びに前回訓練を踏まえたマニュアル改善、教育・訓練等の実績を確認する</p>	<p>○ 通常使用する ERC との Web 会議システムに支障が生じた場合は、使用可能な電話で ERC と情報共有を行うこと、また、使用している通信手段が使用不能になった場合のお互いの代替通信手段をあらかじめ確認しておくことをマニュアルに定めている。</p>

<p><WEB 会議システムを使用する場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練時の WEB 会議システム使用不能状態の場面設定を確認する <p><WEB 会議システムを使用しない場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練時に通信不通などのマルファンクション実施予定の有無を確認する 	<p><Web 会議システムを使用する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 警戒事態該当事象発生後の休日体制での初動では ERC との常時接続は行わず、FAX での情報共有のみを行う（約 1 時間程度）。その後、原子力防災要員の到着以降の情報共有を Web 会議システムによって行う（約 1 時間半程度）。情報共有に必要な資料は、FAX、備え付け資料を活用して行う。 								
<p>指標 4：前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定</p> <p>○ 訓練実施計画が、前回訓練の訓練結果を踏まえ、問題・課題に対する改善策が有効に機能するものであるか検証できる計画（訓練実施項目、訓練シナリオ等）となっていることを確認する</p> <p>○ 訓練時における当該改善策の有効性の評価・確認の方法（例えば、訓練評価者が使用する評価チェックリスト（改善策の有効性を検証するための評価項目、評価基準などが明確になっているもの）が作成されていることなど）を確認する</p> <p>○ 課題の検証につき、社内自主訓練・要素訓練で対応している場合は、その検証結果を確認する</p>	<p>○ 今年度訓練のシナリオは、昨年度訓練の防災訓練実施結果報告書に記載した改善（対策）状況を確認できる要素を盛り込んだシナリオとしている。</p> <p>○ 今年度訓練において社内評価者による評価を実施する。令和 5 年度事業者訓練実施計画書【1】第 6 項に訓練実施内容、検証項目及び評価基準（達成目標）を定め、評価者にはあらかじめ評価基準を記載した評価シートを配布し、訓練終了後に評価結果を回収し、是正状況を確認する。令和 5 年度事業者訓練実施計画書【1】第 7 項の改善策と第 6 項の検証項目の関係を以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1227 805 2123 1050"> <tr> <td>7. 前回までの訓練の課題に対する改善（対策）状況</td> <td>6. 訓練項目、実施内容及び検証項目</td> </tr> <tr> <td>No. 1</td> <td>No. 6-3</td> </tr> <tr> <td>No. 2</td> <td>No. 9-2</td> </tr> <tr> <td>No. 3</td> <td>No. 3-2</td> </tr> </table> <p>○ 今年度の防災訓練（総合訓練）前に平日昼間想定 of 社内自主訓練を実施し、課題の改善状況を確認する。要素訓練の実施にあたって、要素訓練実施計画を作成し、その中で課題の改善状況に関する評価基準を明確にした評価シートを作成し、社内評価者による評価を実施する。</p>	7. 前回までの訓練の課題に対する改善（対策）状況	6. 訓練項目、実施内容及び検証項目	No. 1	No. 6-3	No. 2	No. 9-2	No. 3	No. 3-2
7. 前回までの訓練の課題に対する改善（対策）状況	6. 訓練項目、実施内容及び検証項目								
No. 1	No. 6-3								
No. 2	No. 9-2								
No. 3	No. 3-2								

<p>○今年度の訓練で課題検証を行わない場合にあつては、その理由と検証時期の説明、中期計画等への反映状況を確認する。また、今年度の訓練で課題検証を行わずとも緊急時対応に直ちに問題は無いことを確認する</p>	<p>○ 今年度訓練ですべて検証する。</p>
<p>指標 5：シナリオ非提示型訓練の実施状況 ○開示する範囲、程度（一部開示の場合、誰に／何を開示するのか具体的に記載）及びその設定理由を確認する</p>	<p>○ 休日の想定は初めての想定となるため初動を行う休日体制の要員に初動のシナリオの概要を提示する。招集を受けて参集する原子力防災要員にはシナリオ非提示とする。ただし、参集時間や ERC 対応者の指定など難度維持に必要な項目については提示する。コントローラ、評価者、シナリオ作成に必要な要員にはシナリオ詳細をすべて開示する。</p>
<p>指標 6：シナリオの多様化・難度 ○訓練シナリオのアピールポイントを確認する</p> <p>○シナリオ多様化に関し、付与する場面設定を確認する ○訓練プレイヤーへ難度の高い課題をどのように与えているかを確認する 例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間：要員が少ない時間帯 ・ 場所：対応が困難となる場所 ・ 同時発災：同一地域における複数事業所同時発災 ・ 気象：通常訓練で想定しない天候や組み合わせなど ・ 体制：キーとなる要員の欠員 ・ 資機材：手順外の資機材の活用 ・ 計器故障：EAL 判断計器または重要計器故障、これに伴う代替パラメータでの確認 ・ 人為的ミス：操作や報告のミス ・ OFC 対応：要員派遣に加え、オンサイトと連携した活動 ・ 判断分岐：マルチエンディング、途中の判断分岐 ・ その他：複数の汚染傷病者など 	<p>○ 今年度訓練におけるシナリオの特徴は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地震による火災と管理区域内でのウラン粉末飛散に休日体制の少人数で対応しなければならないシナリオ。 ➢ 実際の天候に基づいて訓練を行う。 <p>○ 場面設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間：休日を想定 ・ 場所：火災により建屋開口部の養生不可 ・ 同時発災：－ <p>○ 気象：訓練当日の気象（風向、風速）を基に屋外モニタリング箇所の選定が必要なシナリオとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体制：ERC 対応未経験者が ERC 対応を行う。 <p>○ 資機材：－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計器故障：－ ・ 人為的ミス：－ ・ OFC 対応：－ ・ 判断分岐：－ <p>○ その他：1名の汚染傷病者と1名の内部被ばく者発生</p>

<p>指標 7：広報活動 ○評価要素①～④それぞれについて、対応、参加等の予定を確認する</p>	<p>① 今年度訓練でのプレス内容については、ERC 広報班と事前の確認を行う。 ② 記者等の社外プレーヤの参加は実施しない。 ③ 要素訓練で模擬記者会見を実施する。会見場所は社内に設定し、模擬記者は社内より人選する。 ④ プレス文を会社 HP（訓練用模擬 HP）に掲載する。</p>
<p>指標 8：後方支援活動 ○評価要素①, ②それぞれについて、具体的活動予定（特に、実動で実施する範囲を明確にすること）を確認する ○一部を要素訓練で実動し、残りを総合訓練で実動するなど、複数の訓練を組み合わせて一連の後方支援活動の訓練を実施する場合は、その内容を確認する</p>	<p>① 原子力事業者間の支援要請を実施する（連絡のみ実施）。 ② 今後調達する資機材の、受け入れ及び保管の拠点として原子力事業所災害対策支援拠点の設営要請を行う。（総合訓練では要請のみ、要素訓練では模擬の本部からの要請で、支援拠点設置に必要な要員の手配から資機材の移動、設営、通信網の構築を実動で実施する。）</p>
<p>指標 9：訓練への視察など (①他原子力事業者への視察) ○他事業者への視察実績、視察計画を確認する (②自社訓練の視察受け入れ) ○自社訓練の視察受け入れ計画（緊対所の視察受け入れ可能人数、募集締め切り日、募集担当者の氏名・連絡先）を確認する (③ピアレビュー等の受入れ) ○ピアレビュー等の受入れ計画（受入れ者の属性、レビュー内容等）を確認する (④ERC への訓練視察) ○ERC への訓練視察の実績、視察計画を確認する</p>	<p>① NFD、MNF 殿に外部評価として伺う予定。 ② 県、市の防災担当者、加工メーカー等に個別に視察の案内を予定。マスコミの取材は希望があれば受け入れ予定。 ③ NFD、MNF、NFI 殿による外部評価を受入れ予定。 ④ ERC への訓練視察の実績及び予定は以下の通り。 以下の訓練見学を予定。 ふげん 10月17日 MNF 1月30日</p>

<p>指標 1 1 : 訓練参加率</p> <p>○参加予定人数（うち、リエゾン人数、コントローラ人数）を確認する</p> <p>○評価者予定人数を確認する</p>	<p>○ 参加予定人数：128名（うち、リエゾン2名、コントローラ7名）</p> <p>○ 予定評価者：7名（社内4名、社外3名）</p>
<p>備考：10条確認会議等の対応</p> <p>○10条確認会議、15条認定会議の事業者側対応予定者の職位・氏名を確認する</p>	<p>○ 代表取締役社長（山崎 肇（原子力防災本部本部長））が10条確認会議、15条認定会議に対応する。</p>
<p>備考：中期計画の見直し状況</p> <p>○見直し状況、見直し内容、今年度訓練実施計画の位置づけを確認する</p> <p>○見直し後の中期計画を確認する</p> <p>○前回訓練の訓練報告書提出以降から次年度訓練まで対応実績・スケジュール（作業フローなど）について、以下のPDCAの観点で概要を確認する</p> <p>【観点】 前回訓練の訓練報告書提出から今回訓練までと今回の訓練を踏まえた[C]及び[A]、中期計画及び原子力防災業務計画への反映[P]の時期</p> <p> [C]訓練報告書のとりまとめ時期</p> <p> [A]対策を講じる時期</p> <p> －具体的な対策の検討、マニュアル等へ反映、周知・教育/訓練など（前回の訓練実施結果報告書に掲げた各課題についての対応内容、スケジュール）</p> <p> －原子力事業者防災業務計画への反映の検討事項・時期（定期見直し含む）</p> <p> [P]中期計画等の見直し事項・時期、次年度訓練計画立案時期</p> <p>○前回訓練実施後の面談時に確認したPDCA計画を再度確認する</p>	<p>○ 昨年度訓練の課題に対する改善に基づき、訓練目標の見直しを行った。また、中期計画2020年度から2023年までの4カ年計画の4年目にあたり、原子力事業者防災業務計画に定める全EALへの対応能力向上と訓練の高度化の位置づけで総合訓練実施を計画している。</p> <p>○ 見直し後の中期計画 【1】 添付1</p> <p>○ 訓練対応実績・スケジュール 【9】</p> <p>○ （参考）令和4年度訓練終了後PDCA計画 【10】</p>

<p>備考：現場実動訓練の実施</p> <p>○現場実動訓練の実施内容</p> <p>○事故シナリオに基づき実施する緊急時対策所の活動との連携を確認する</p> <p>○現場にいる協力企業等の対応の考え方を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導訓練、汚染負傷者の救助、放射線等モニタリング、応急復旧（漏えい箇所養生）作業、除染作業を実働で実施する。また、一部外部関係機関への FAX 送付及び支援要請を実連絡で実施する。 ○ 本部で立案された戦略等に従い、電話及び無線で各機能班の実働要員及び防護隊へ指示が伝えられ、活動状況に応じた報告を現場から本部へ報告する。本部では報告が上がった情報を共有し、戦略へのフィードバックを行い、現場へ次の指示を行う。本部へ上がった情報は情報・連絡班が集約し、情報・連絡班及び広報班から社内外へ発信する。 ○ 協力企業の参加は計画しない。
---	---

訓練コントローラ間の調整事項

<p>○ERC 広報班との連動の有無</p> <p>○リエゾンの人数、入館時刻、訓練参加タイミング</p> <p>○訓練終了のタイミング、その後の振り返りの要否</p> <p>○事前通信確認実施の要否</p> <p>○ERC と連携するコントローラの所属、氏名、連絡先</p> <p>○ERC 対応者の職位、氏名</p> <p>○訓練時、メールを利用した ERC プラント班への資料提供の実施の有無</p>	<p>○ ERC 広報班とはプレス内容の事前確認の連動を実施する。</p> <p>○ リエゾン：2名 入館時刻 12:50、訓練参加タイミング 14:00</p> <p>○ 今年度訓練は、応急復旧が完了し追加放出の可能性がなくなったことを 25 条報告で報告した時点で終了する。引き続いて ERC との振り返りの実施を希望。</p> <p>○ 事前通信確認については別途相談を希望。昨年書画装置の画質が悪いとのコメントがあったので、高画質設定などできないか少し時間をかけて確認したい。</p> <p>○ コントローラ：██████████ ██████████ ██████████ ██████████ ██████████</p> <p>○ ERC 対応者：██████████(原子力防災本部副本部長)</p> <p>○ 通報連絡先に追加されているので、対応者の判断によってはメールでの資料提供があるかもしれない。</p> <p>○ Web 会議システムへの接続：14:00 頃に ERC 対応者が参集し Webex に接続する。接続先は ERC プラント班 01 で良いか？又は、一度 ERC プラント班へ電話接続し、どちらの会議室に接続するか確認するか？</p>
--	--

令和5年度 事業者防災訓練実施計画（総合訓練）

令和5年10月31日

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

ものとする。

3. 訓練実施日時及び施設

3.1. 訓練実施日時

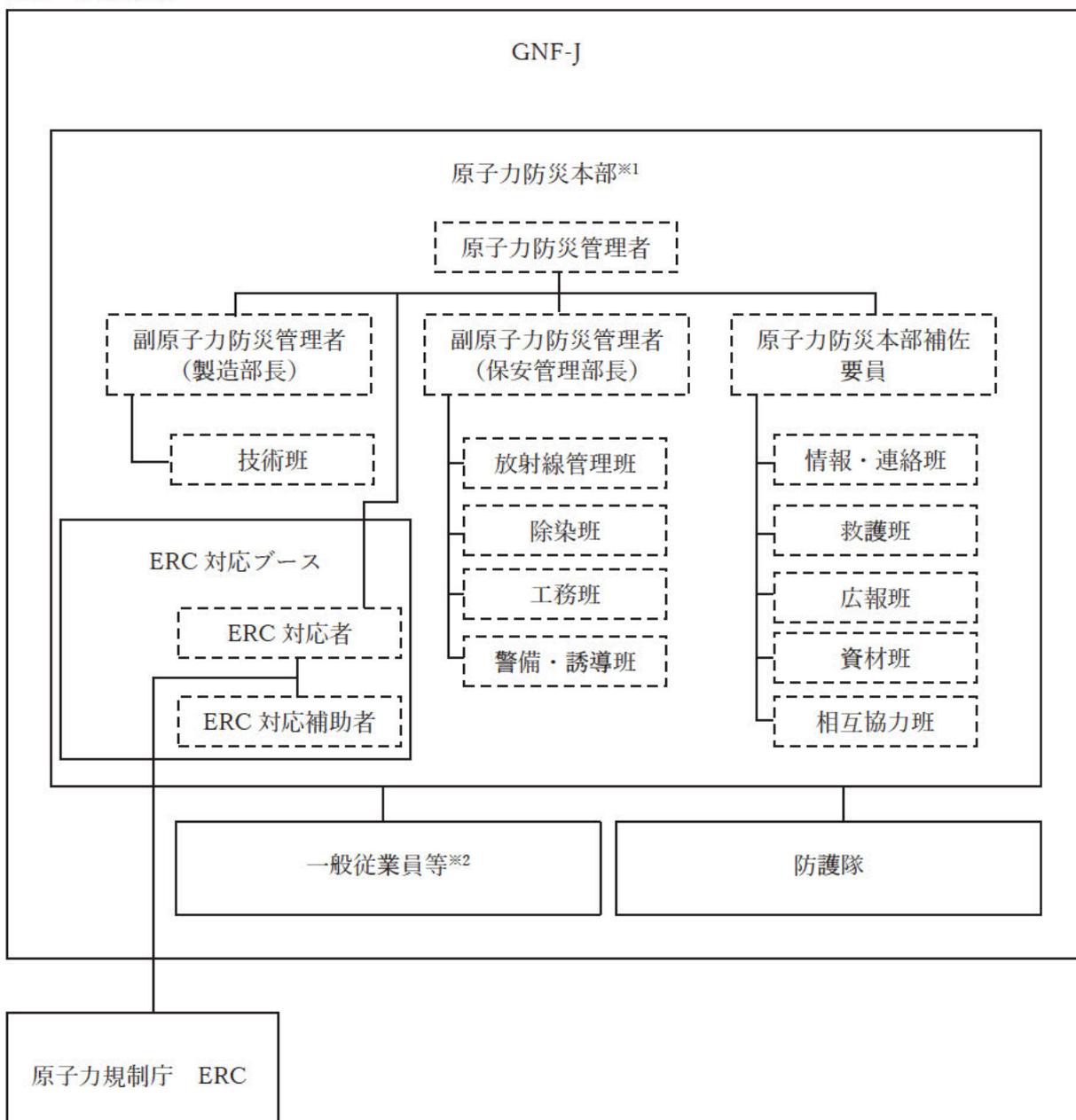
令和5年11月28日(火) 13:00～15:30 (訓練終了後振り返り)

3.2. 訓練実施施設

- ・第2安全管理室(初動対応時本部)
- ・緊急時対策所(要員参集後本部)
- ・第2成型室前屋外(発災現場)
- ・避難場所(第1～第5避難場所)

4. 実施体制及び評価体制並びに参加人数

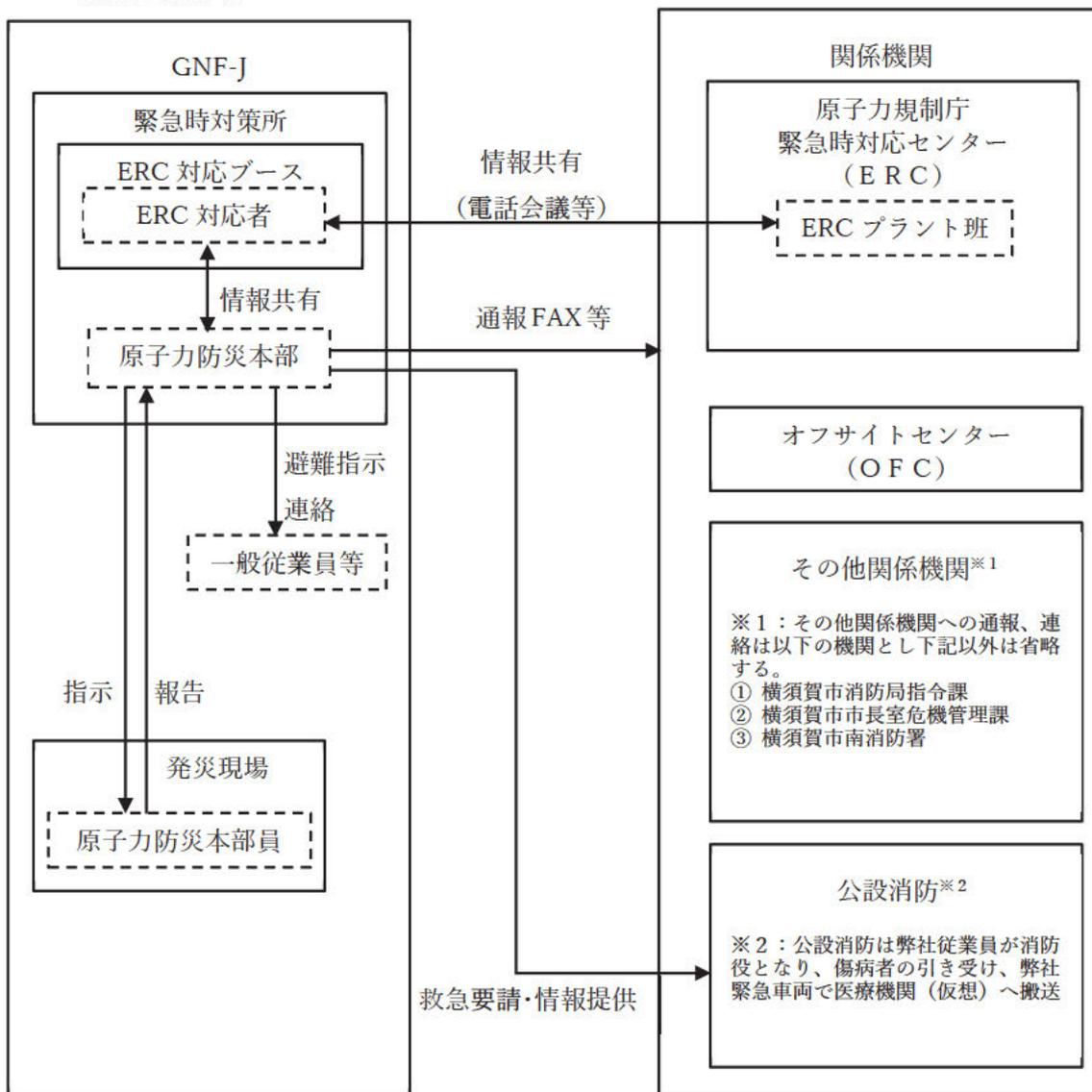
4.1. 実施体制



※1：状況に応じて原子力警戒本部から原子力防災本部へ名称が変更となる。なお、休日体制を想定するため要員参集前の初動対応は4直3交代のシフトマネージャーと保安要員のみによる構成となる。

※2：一般従業員等（シフト勤務者のみ対象）は避難訓練のみ

4.2. 情報連絡体制



4.3. 訓練参加者 (予定)

128名 (原子力防災本部長、一般従業員等 (シフト勤務者)、コントローラ)

4.4. 訓練評価者

社内評価者：4名

社外評価者：3名 (MNF：1名、NFI：1名、NFD：1名)

4.5. 訓練継続の判断

事故や負傷者の発生等による訓練の中断・中止の判断は環境安全部長が行う。

5. 訓練シナリオ案

事業者防災訓練 事象進展概要

予定時刻	事象	主な活動の推移	検証項目※
13:00	<ul style="list-style-type: none"> 訓練開始 大地震発生（GNF-J 地震計震度 6 弱 550gal） 気象庁発表（震源:三浦半島沖（深さ 60km）、M7.0、横須賀市震度 6 弱、神奈川県震度 6 弱） 津波の心配なし 商用電源喪失 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の避難、要員招集（緊急招集システム） 原子力警戒態勢発令 原子力警戒本部設置 原子力警戒事態該当事象発生連絡（第 1 報） 初期情報収集 施設の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 警戒事態該当事象発生連絡/経過連絡 応急復旧の実施 従業員等の避難 要員参集 原子力警戒本部の設置 非常電源供給（想定）
	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 成型室で 5 ガロン缶 1 缶が落下し、ウラン粉末が漏えい 室内エアモニタの警報発報 	<ul style="list-style-type: none"> 初期情報収集 施設の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 応急復旧の実施 放射線等モニタリング
13:15	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 成型室のプレス機から火災発生 初期消火失敗 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器による初期消火活動 屋外の境界扉の冷却への移行 原子力警戒事態該当事象発生後の経過連絡（第 2 報） 	<ul style="list-style-type: none"> 警戒事態該当事象発生連絡/経過連絡 応急復旧の実施
13:50	<ul style="list-style-type: none"> 社外から原子力防災要員参集 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数体制から原子力防災要員体制への移行と引継ぎ Webex による ERC との常時接続開始 	<ul style="list-style-type: none"> 要員参集
14:00	■ [REDACTED]	■ [REDACTED]	<ul style="list-style-type: none"> 応急復旧の実施

予定時刻	事象	主な活動の推移	検証項目※
	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	
	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 10 条(第 15 条)通報 ・ 第 25 条報告 ・ COP の活用 ・ 応急復旧の実施 ・ 放射線等モニタリング ・ 放射線等モニタリングデータの時系列での整理 ・ 原子力防災本部への移行 ・ 根拠に基づいた EAL 判断の実施 ・ EAL 関連情報の共有 ・ EAL 判断の伝達 ・ 原子力事業所災害対策支援拠点の設置要請 ・ 事業者間協定支援要請
	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力災害医療の実施

予定時刻	事象	主な活動の推移	検証項目※
14:30	[Redacted]	[Redacted]	<ul style="list-style-type: none"> 第 10 条(第 15 条)通報 第 25 条報告 COP の活用 放射線等モニタリング 放射線等モニタリングデータの時系列での整理 根拠に基づいた EAL 判断の実施 EAL 関連情報の共有 EAL 判断の伝達
14:40	[Redacted]	[Redacted]	<ul style="list-style-type: none"> COP の活用 応急復旧の実施
15:00	[Redacted]	[Redacted]	<ul style="list-style-type: none"> COP の活用 応急復旧の実施 放射線等モニタリング 放射線等モニタリングデータの時系列での整理
	[Redacted]	[Redacted]	<ul style="list-style-type: none"> 第 25 条報告
15:30	・ 訓練終了		

※：6 項に示す各訓練項目に対する検証項目を示す。なお、広報活動、ERC 対応、ERC への派遣については訓練全体を通して確認を行う。

6. 訓練項目、実施内容及び検証項目

以下の項目を含む総合訓練を実施する。各訓練における実施内容及び検証項目等の詳細については次頁以降の表に示す。

- (1) 通報訓練
- (2) 除染作業等の訓練
- (3) モニタリング訓練
- (4) 避難誘導訓練
- (5) その他の訓練
 - ① 要員参集
 - ② EAL 判断
 - ③ 原子力災害医療
 - ④ 商用電源喪失
 - ⑤ 後方支援活動
 - ⑥ 広報活動
 - ⑦ ERC 対応
 - ⑧ ERC への派遣

No.	訓練項目	訓練実施内容	検証項目	達成目標
1-1	通報訓練	警戒事態該当事象及び原災法第10条事象、第15条事象発生時に社内及び社外関係機関の一部への実通報連絡を実施する。 また、応急措置の概要に関する報告について、社内及び社外関係機関の一部への実連絡を実施する。	警戒事態該当事象発生連絡/ 経過連絡	必要な情報が記載されており、内容がチェックされて記載の誤記、漏れ等がないこと。 なお、万一、誤記、記載漏れがあった場合には、訂正報が確実に行われること。
FAXによる連絡と着信確認が実施できること。				
1-2			第10条(第15条)通報 (特定事象発生通報)	必要な情報が記載されており、内容がチェックされて記載の誤記、漏れ等がないこと。 なお、万一、誤記、記載漏れがあった場合には、訂正報が確実に行われること。
				FAXの通報が事象判断から15分以内に実施できること。
				FAXの着信確認が実施できること。
1-3			第25条報告 (応急措置の概要報告)	必要な情報が記載されており、内容がチェックされて記載の誤記、漏れ等がないこと。 なお、万一、誤記、記載漏れがあった場合には、訂正報が確実に行われること。
	30分間隔を目安に、FAXで第25条報告を実施できること。			
	FAXの着信確認が実施できること。			

No.	訓練項目	訓練実施内容	検証項目	達成目標
2-1	除染作業等の訓練	戦略シートを利用して応急復旧対策を立案し、各機能班で事象収束活動及び拡大防止対策を実施する。	応急復旧の実施	本部の指示のもと、除染作業等の応急措置が実施できること。
2-2			COP の活用	戦略シート等の COP について、計画の作成及び進捗の管理を適切に実施し、情報共有に活用できること。
3-1	モニタリング訓練	放射線等モニタリング計画シートを利用してモニタリング計画を策定し、可搬型モニタリング設備等を用いた放射性物質濃度等のモニタリングを実施する。	放射線等モニタリング	本部の指示に従い、放射性物質濃度等のモニタリングが実施できること。
3-2			放射線等モニタリングデータの時系列での整理	定期的に測定を行う放射線等モニタリングのデータについて時系列で整理し、有効に共有できること。
3-3			COP の活用	放射線等モニタリング計画シート等の COP について、計画の作成及び進捗の管理を適切に実施し、情報共有に活用できること。
4-1	避難誘導訓練	災害発生時に定められた避難場所への従業員等の避難誘導を実施する。	従業員等の避難	休日の体制で適切な避難場所に従業員等の避難及び安否確認が実施できること。

No.	訓練項目	訓練実施内容	検証項目	達成目標
5-1	要員参集	要員の参集及び原子力防災本部等の立上げを実施する。	要員参集	緊急招集システムによる原子力防災本部員の招集が実施できること。
5-2			原子力警戒本部の設置	適切なタイミングで原子力警戒本部が設置できること。
5-3			原子力防災本部への移行	適切なタイミングで原子力防災本部へ移行できること。
6-1	EAL 判断	収集した情報に基づき、判断根拠を明確にした上で EAL を判断する。	根拠に基づいた EAL 判断の実施	EAL を蓋然性による判断の場合も含めて、判断根拠を明確にして適切に判断できること。
6-2			EAL 関連情報の共有	本部で EAL に関連する事象を整理し、当該 EAL に進展する道筋に関する情報を ERC 対応者に提供できること。
6-3			EAL 判断の伝達	副本部長が EAL 判断時刻を EAL 判断フローに記載して正確に ERC 対応者に伝達できること。
7-1	原子力災害医療	傷病者発生に伴う、救助、汚染のサーベイ、除染及び公設消防への連絡（模擬）、並びに傷病者の救急隊への引渡し（模擬）及び医療機関への搬送状況（情報付与）の把握を行う。	原子力災害医療の実施	傷病者の救助、汚染のサーベイ、除染及び公設消防への連絡（模擬）、並びに傷病者の救急隊への引渡し（模擬）及び医療機関への搬送状況（情報付与）の把握ができること。
8-1	商用電源喪失	地震による商用電源喪失を想定して非常電源の供給を行う。	非常電源供給（想定）	商用電源喪失後の非常用発電機の起動状況の把握及び適切な運用の指示が実施できること。

No.	訓練項目	訓練実施内容	検証項目	達成目標
9-1	後方支援活動	事業者間協定に基づく支援要請及び原子力事業所災害対策支援拠点の設置要請を行う。	原子力事業所災害対策支援拠点の設置要請	原子力事業所災害対策支援拠点に要員を派遣し、拠点の設営及び通信網の構築を要請できること。
9-2			事業者間協定支援要請	事業者間協定先へ支援要請を実施できること。
10-1	広報活動	模擬ホームページへの広報文掲載を実施する。なお、掲載内容についてはERC広報班にFAXで送付し確認をとることとする。 また、関係者、構内待機者への情報提供を実施する。	情報発信ツールを使った外部への情報発信	模擬ホームページへの広報文の掲載ができること。
10-2			ERC 広報班との連動	ERC 広報班に広報内容をFAXで送信し、電話連絡を行って内容の確認を受けることができること。

No.	訓練項目	訓練実施内容	検証項目	達成目標
11-1	E R C対応	原子力規制庁ERCと緊急時対策所をWeb会議等で接続し、緊急時対策所のERC対応者がERCに情報提供を実施する。	ERC プラント班との情報共有	事故・プラントの状況（現在のプラントの状況、新たな事象の発生、線量の状況、負傷者の発生等の発生イベント、現況）の情報共有ができること。
				進展予測と事故収束対応（事故の進展予測及びこれを踏まえた事故収束に向けた対応戦略（対応策））の情報共有ができること。
				戦略の進捗状況（事故収束に向けた対応戦略（対応策）の進捗状況）の情報共有ができること。
				必要な情報に不足や遅れがないこと。
				事象の進展や事故収束戦略・予測進展の変更といった状況変化時や、適時に施設全体の現況について説明ができること。
				ERC 保管資料の図表などの視覚情報の活用ができること。
				EAL 判断時に、ERC プラント班に対し当該 EAL の判断根拠の説明が適切に行われること。
11-2			10 条会議/15 条認定会議での説明	「ERC プラント班等の活動について」に基づき、10 条認定会議及び 15 条認定会議での簡潔な説明を実施できること。

No.	訓練項目	訓練実施内容	検証項目	達成目標
12-1	ERC への派遣	副原子力防災管理者 1 名と相互協力班 1 名をリエゾンとして ERC に派遣し、緊急時対策所の ERC 対応者による情報共有のサポートを実施する、	ERC リエゾンの活動	<p>ERC プラント班に派遣されたリエゾンが、緊急時対策所を補助するという目的に応じ事業者が定めるリエゾンの役割等を認識し、必要に応じ適時適切に ERC プラント班に対し情報提供できること。</p> <p>ERC プラント班の意向等を緊急時対策所等に伝達できること。</p>

7. 前回までの訓練の課題に対する改善（対策）状況

No.	前回までの訓練の課題	改善（対策）状況
1	<p>クロノロ及びEAL判断フローに記載されるEAL判断基準を超える水準での放射性物質が検出された時の放射線管理班からの報告に、「SE02・GE02に該当すると判断」と記載されており、ERC対応者はその時刻をEAL判断時刻と誤解してしまい、ERCに報告してしまった。本来は本部長によるEAL判断が行われた時刻のみがEAL判断時刻として伝わるべきであった。</p>	<p>EAL判断をいつ、だれが行うのか、どのような流れで15条認定されるかなど、原子力災害発生の判断プロセス及びEAL判断という言葉の重要性について原子力防災教育の内容に追加した。また、EALの「判断時刻」をEAL判断フローに副本部長が責任をもって記載してERCへ報告する仕組みを原子力災害対応マニュアルに定めた。</p>
2	<p>事業者間協定での支援に対して派遣要員や貸与資機材は定められていたが、具体的な活動までは明確になっていなかった。</p>	<p>放射線測定器や測定要員の不足が予想される場合に支援要請を行うこと並びに人数及び借用数については都度事業者間で調整することを原子力災害対応マニュアルに定めた。また、敷地外のモニタリングや除染等をGNF-Jが想定する主な支援要請内容として協定先に連絡した。</p>
3	<p>モニタリングについて十分に情報が共有できていなかった。</p>	<p>定期的に測定を行うものに対してモニタリングの時系列データを整理するシートを原子力災害対応マニュアルに定めた。また、有効に活用できるよう要素訓練等で技量の向上を図る。</p>

8. ERCプラント班との情報共有に用いる資料・様式

8.1. 情報共有に用いる資料

9項に示すERC書架内の資料を用いる。

8.2. 原子力事業者防災業務計画に係る様式

- ・様式第 6-1 警戒事態該当事象発生連絡
- ・様式第 6-2 警戒事態該当事象発生後の経過連絡
- ・様式第 7-1 特定事象発生通報（加工施設）
- ・様式第 8-1 応急措置の概要（加工施設）

9. ERC書架内の資料整備状況（資料一覧）

- (1) 原子力事業者防災業務計画
- (2) 加工施設保安規定
- (3) 加工事業許可申請書
- (4) 事業所敷地内建屋配置図
- (5) 横須賀市街図・周辺施設
- (6) 周辺人口分布
- (7) ERC 保管資料（施設周辺、建屋平面図、各種工程・系統概要図、主要事象の対応フロー 他）

2020年度-2023年度 G N F - J 原子力事業者防災訓練中期計画

【凡例】○：実施予定、△：一部実施予定又は模擬

訓練項目		令和2年（2020）度計画		令和3年（2021）度計画		令和4年（2022）度計画		令和5年（2023）度計画	
		要素訓練	総合訓練	要素訓練	総合訓練	要素訓練	総合訓練	要素訓練	総合訓練
事 象 想 定	シナリオ非提示	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	△
	EAL	XSE62	SE03/GE03	SE06/GE06 XSE61/XGE61	SE05/GE05	SE01/GE01 SE55/GE55	SE02/GE02	SE04/GE04	■
	複合災害	—	●	—	●	—	●	—	○
	新基準ハザード（地震・津波・竜巻等）	●	●	●	●	●	●	●	○
	夜間・休祭日における災害	●	—	●	—	●	—	○	○
	従業員等の避難	—	●	—	●	—	●	—	○
	通報訓練	▲	▲	▲	▲	▲	▲	△	△
緊 急 時 応 急 対 策 業 務	除染作業等の訓練	●	●	●	●	●	●	○	○
	モニタリング訓練	▲	●	▲	●	▲	●	△	○
	避難誘導訓練	▲	●	▲	●	▲	●	△	○
	その他の訓練								
	要員参集	●	●	●	●	●	●	○	○
	EAL判断訓練	●	●	●	●	●	●	○	○
	原子力災害医療	▲	●	▲	●	▲	●	△	○
	商用電源喪失	—	—	—	●	—	●	—	○
	後方支援活動（支援要請、支援拠点設置）	▲	●	▲	●	▲	●	△	○
	広報活動（模擬HP、模擬記者会見等）	▲	▲	▲	●	▲	●	△	○
	ERC対応	▲	●	▲	●	▲	●	△	○
ERCへの派遣	—	○※1	—	○※2	—	●	—	○	
OFCへの派遣	▲	—	▲	—	▲	—	△	—	
そ の 他	評価 内部	●	●	●	●	●	●	○	○
	外部	—	●	—	○※2	—	●	—	○
訓練の主な目標		【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・図表等、分かりやすい情報提供 ・ERC事業者ブース資料の有効活用	【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・ERCプラント班、プラント班派遣要員（リエゾン）との情報共有 ・図表等、分かりやすい情報提供 ・ERC事業者ブース資料の有効活用	【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・夜間休日における対応能力の確認	【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・ERC対応のバックアップ体制の確認 ・モニタリング対応の効率化	【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・夜間休日における指揮能力の確認 ・夜間の実動能力の確認 ・シナリオプレインドによる的確な判断の確認（SE01/GE01）	【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・平日昼間を想定した現場指揮体制の確認 ・モニタリング対応の効率化 ・気象情報の活用	【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・シナリオプレインドによる的確な判断の確認	【訓練目標】 ・すべてのEALに対する対応能力の確認 ・総合訓練での夜間休日体制における対応能力の確認 ・EAL判断時刻等の正確な伝達 ・モニタリングデータの時系列の整理 ・事業者間の支援要請

・本中期計画は、毎年度見直しを行う

・シナリオ非提示型訓練には、訓練概要の説明を除く。

※1：2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、リエゾンの派遣を中止した。

※2：2021年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、リエゾンの派遣及び外部評価を中止した。

(参考資料)

令和5年度 事業者防災訓練 通報先リスト

No.	機関	TEL	FAX
1	ERC	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
2	横須賀原子力規制事務所	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
3	横須賀オフサイトセンター	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
4	横須賀市消防局指令課	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
5	横須賀市市長室危機管理課	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
6	横須賀市南消防署	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■

初期情報シート

項目		単位	時刻	記載事項
地震情報	震度	震度		
	加速度	gal		
	津波警報	-		
モニタリング ポスト値	No.1	nGy/h		(通常 100nGy/h 未満)
	No.2	nGy/h		(通常 100nGy/h 未満)
気象情報	天候	-		
	風向	方位		
	風速	m/s		
	大気安定度	-		
警報状況	発報した警報 (部屋名)	-		
避難状況	避難者数	人		
	不明者数	人		
	負傷者数	人		
用役状況	給排気	状態	-	通常運転・1/2 運転・停止・確認中
		負圧異常箇所	-	
	電源	商用電源	-	供給・遮断・喪失・確認中
		非常用発電機	-	運転中・待機中・機能喪失・確認中
	水素ガス供給		-	供給・遮断・確認中
	給水遮断		-	供給・遮断・確認中

添付 3-1 別紙(警報発報リスト)

※必要に応じて本リストを作成し、初期情報シートに添付する。

No.	チェック事項		
	監視盤: <input type="checkbox"/> 安全管理室 <input type="checkbox"/> 警備室 <input type="checkbox"/> 動力棟		
	警報発報: 発報時刻(:)	警報発報区域:	警報内容:
警報発報区域 点検結果	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり 点検時刻(:) 点検者:		
	内容)		

	監視盤: <input type="checkbox"/> 安全管理室 <input type="checkbox"/> 警備室 <input type="checkbox"/> 動力棟		
	警報発報: 発報時刻(:)	警報発報区域:	警報内容:
警報発報区域 点検結果	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり 点検時刻(:)		
	内容)		

	監視盤: <input type="checkbox"/> 安全管理室 <input type="checkbox"/> 警備室 <input type="checkbox"/> 動力棟		
	警報発報: 発報時刻(:)	警報発報区域:	警報内容:
警報発報区域 点検結果	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり 点検時刻(:)		
	内容)		

建物	室、区域	給排気			電源			ウラン取扱	炉稼動	水素使用	閉じ込め機能 健全○ 喪失× 該当なしー	臨界管理 健全○ 喪失× 該当なしー	備考	
		排気系	略称	状態 運転○ 停止×	負圧 維持○ 低下△ 喪失×	商用電源 供給○ 遮断△ 喪失×	非常用発電機 供給○ 遮断△ 喪失×							
第2 加工 棟	第2 ウラン回収室第1区域(1階)	第18	EX201											
	第2 ウラン回収室第1区域(2階)													
	第2 廃棄物処理室	第20	EX203											
	第2 機械工作室													
	第2 成型室	第21	EX204											
	第2 炉室	第22	EX205-1											
	第2 装填室	第23	EX206											
	第2-2 階酸化ウラン取扱室	第24	EX207											
	第2 汚染検査室	第25	EX209											
	第2 洗濯室													
	第2 開発実験室	第26	EX210											
	第2-3 酸化ウラン取扱室													
	第2 安全管理計測室	第27	EX208											
第2 フィルタ室	第28	EX211												
第1 加工 棟	第1 化学分析室	第7	EX107											

戦略

戦略シート

Rev. 0 年 月 日 :

Rev.	時刻	Rev.	時刻

戦略	順位	目的	目標	予定		実績		
				開始日時	終了日時	開始日時	終了日時	結果

事象進展予測	予測起点日時 :

Rev.	時刻	Rev.	時刻

戦術

戦略順位： _____

Rev.0	年	月	日	:
-------	---	---	---	---

目的								
目標								
戦術	順位	モニタリング計画シート関連箇所	対 応 手 段	予 定		実 績		
				開始日時	終了日時	開始日時	終了日時	結果

放射線等モニタリング計画シート

Rev. 0	年 月 日	:
--------	-------	---

Rev.	時刻	Rev.	時刻

No.	目的	場所/設備	対応 要否 (*)	戦略シート 関連箇所	測定		測定結果(測定不要の場合はその理由)	EAL判断
					開始日時	終了日時		
1-1	監視設備による 状況監視	モニタリングポスト						SE01 : 5 μ Sv/h以上検出 又は γ +nが5 μ Sv/h以上 検出 GE01 : SE01を2地点で検出 又は SE01が10分以上 継続
1-2		ガンマモニタ						SE06 : 全ての臨界管理逸脱 又は 複数が発報 又 は MPで1 μ Sv/h以上 かつ nとの合計が5 μ Sv/h 以上検出 GE06 : 複数が発報 かつ n継続検出
2-1	発災場所(閉込 機能喪失場所) 付近の状況確認	放射線量(管理区域外)						SE04 : 推定で50 μ Sv/h以上を検出される蓋然性が 高い 又は 50 μ Sv/hを10分以上継続 GE04 : 推定で5mSv/h以上を検出される蓋然性が高 い 又は 50 μ Sv/hを10分以上継続
2-2		空气中放射性物質濃度(管理区域 外)						SE05 : 推定で5.0E-7Bq/cm3を超える濃度を検出さ れる蓋然性が高い 又は 5.0E-7Bq/cm3を超えて検 出 GE05 : 推定で5.0E-5Bq/cm3を超える濃度を検出さ れる蓋然性が高い 又は 5.0E-5Bq/cm3を超えて検 出
2-3		放射線量(管理区域内)						—
2-4		空气中放射性物質濃度(管理区域 内)						—

3-1	敷地外への影響評価	排気筒モニタ/ダストサンプラ						SE02/GE02 : 1.0E7Bqを超えて検出
3-2		ダストヨウ素サンプラ						
3-3		屋外最終槽						SE03/GE03 : 1.0Bq/cm3を超えて検出
3-4		敷地境界の空間線量率						SE04 : 推定で50 μ Sv/h以上を検出される蓋然性が高い 又は 50 μ Sv/hを10分以上継続 GE04 : 推定で5mSv/h以上を検出される蓋然性が高い 又は 50 μ Sv/hを10分以上継続
3-5		敷地境界の空气中放射性物質濃度						SE05 : 推定で5.0E-7Bq/cm3を超える濃度を検出される蓋然性が高い 又は 5.0E-7Bq/cm3を超えて検出 GE05 : 推定で5.0E-5Bq/cm3を超える濃度を検出される蓋然性が高い 又は 5.0E-5Bq/cm3を超えて検出
4-1	負傷者対応	負傷者の身体汚染						—
5-1	その他							
5-2								
5-3								

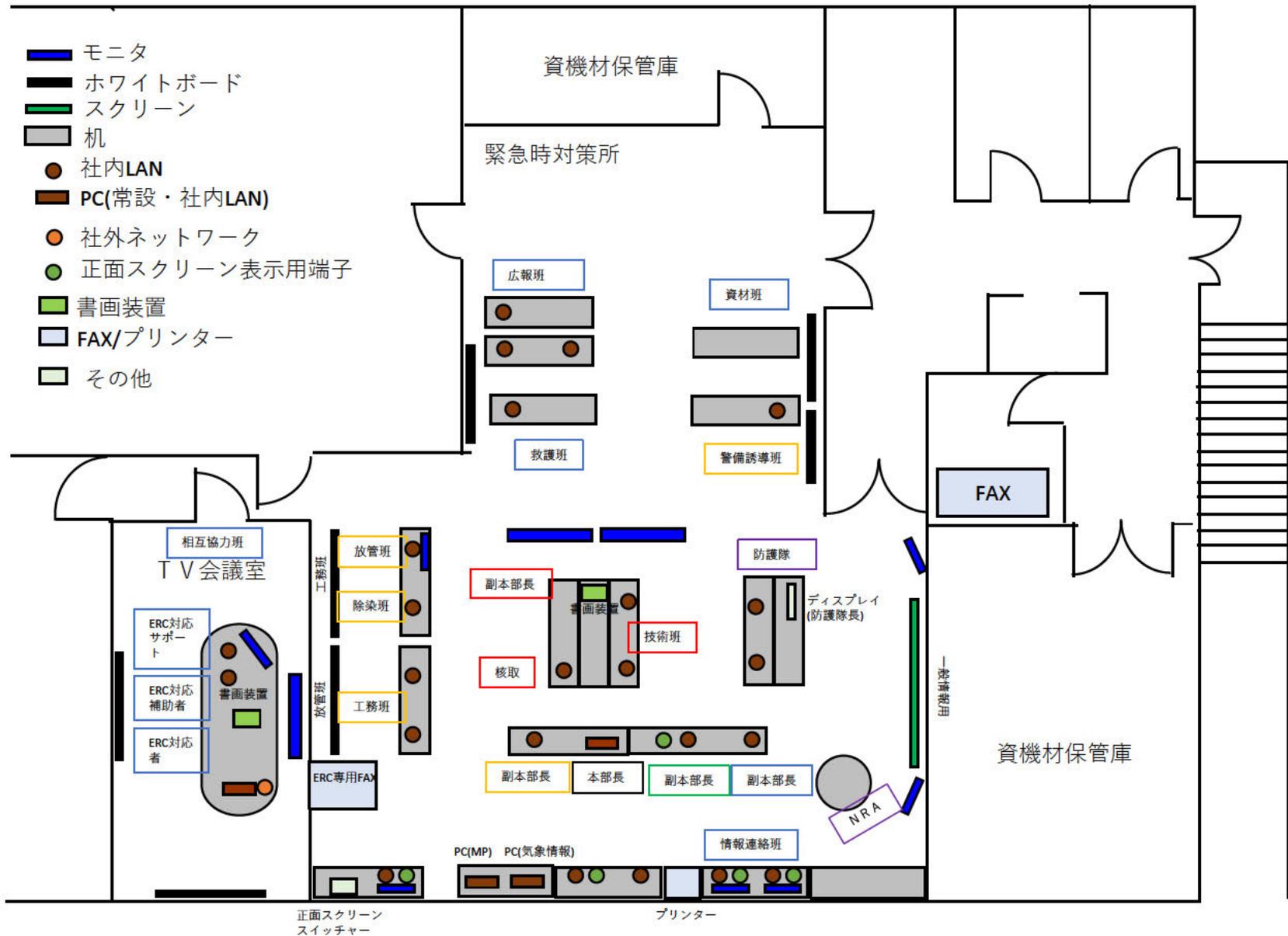
(*) 対応「要」であり、定期的に測定が必要な場所/設備については、添付3-5 放射線等モニタリング時系列シートに時系列データを記載。

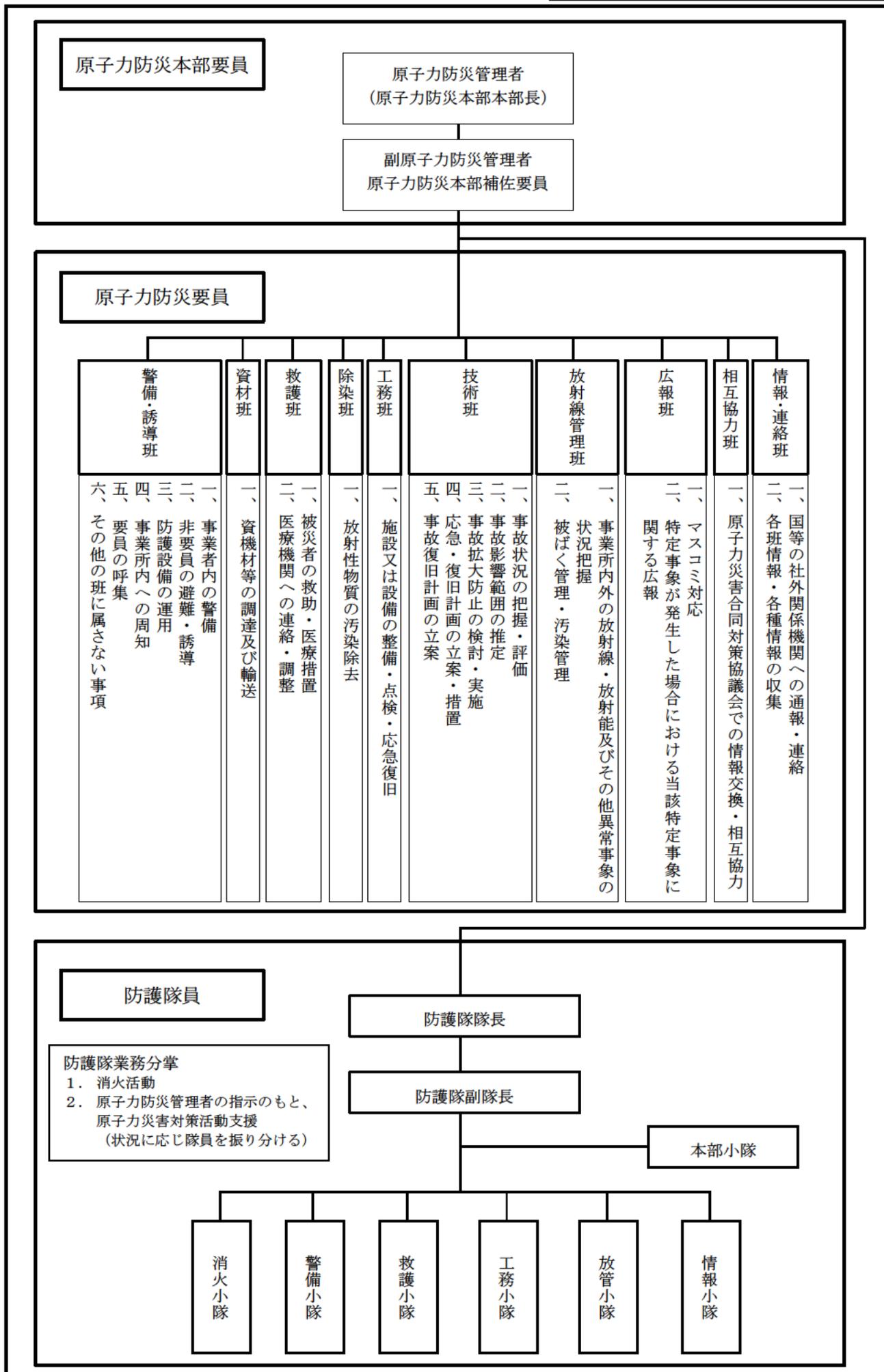
放射線等モニタリング時系列シート

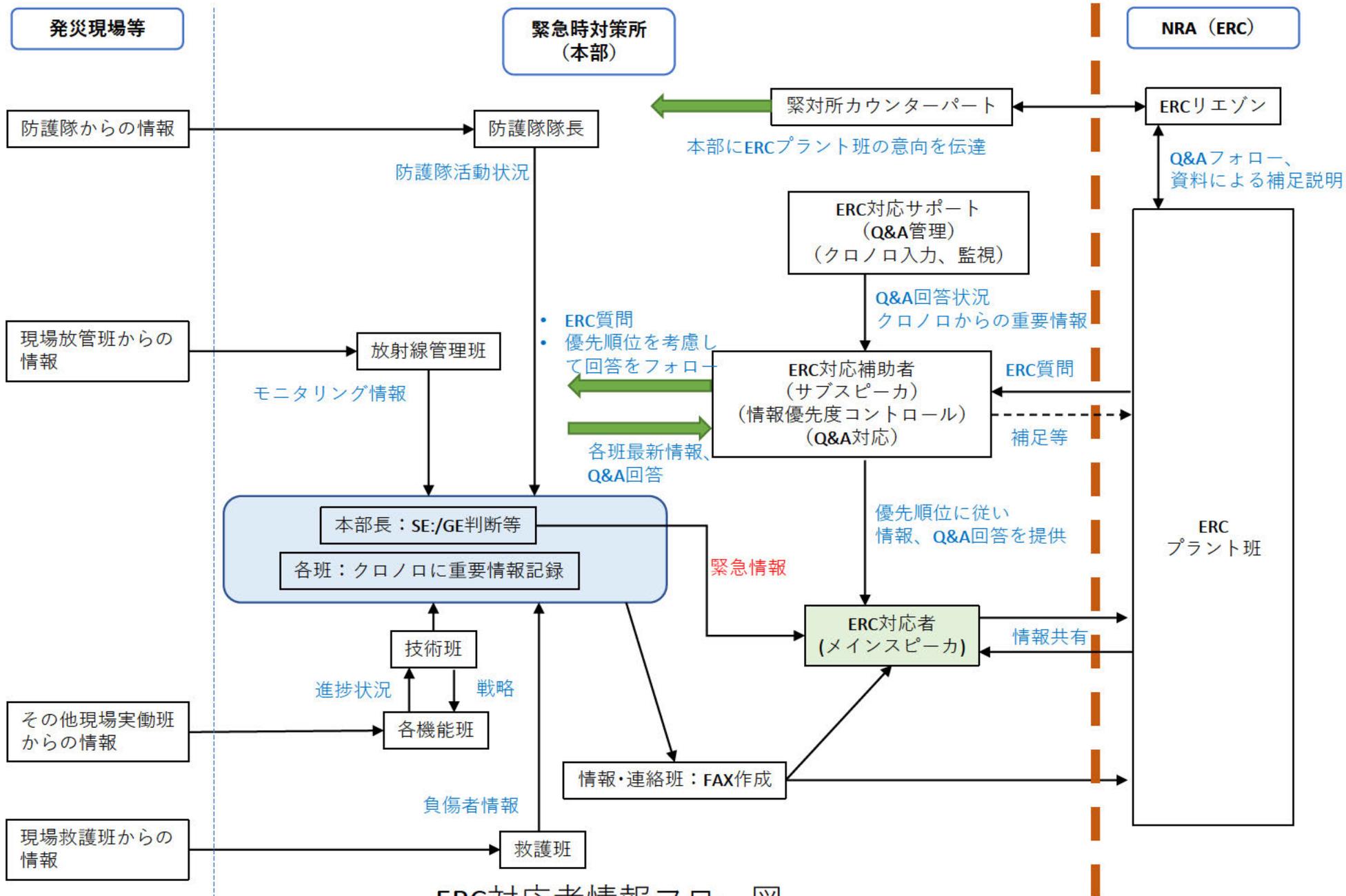
設備/機器：		放射線等モニタリング計画シート関連箇所：	
---------------	--	-----------------------------	--

番号	No.		No.		No.	
測定結果	確認時刻	測定値 ()	確認時刻	測定値 ()	確認時刻	測定値 ()
1回目						
2回目						
3回目						
4回目						
5回目						
6回目						
7回目						
8回目						
9回目						
10回目						

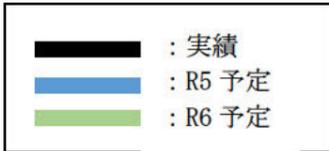
緊急時対策所レイアウト図





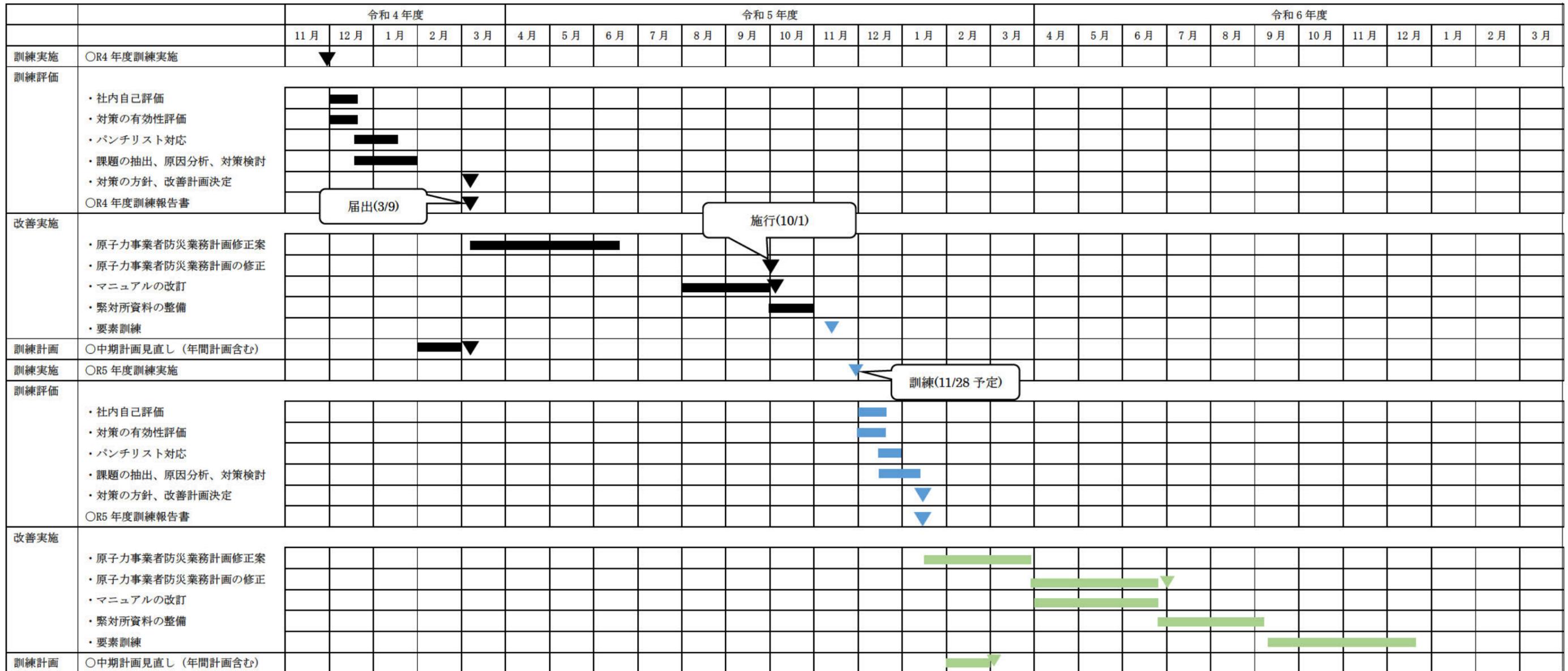


ERC対応者情報フロー図



令和5年度 訓練対応実績・スケジュール

(株) グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン



届出(3/9)

施行(10/1)

訓練(11/28 予定)

Condition Reporting
View Condition Report #41927

English

View Condition Report #41927 - Open

CR Documentation Storage



Report Highlights

Report Type: Improvement	Date & Time of Discovery: 09-Mar-2023 5:45 PM
Department: Fuel Cycle GNF-J Sub-Department: EHS-ALL	External Contact Information:
Audit ID:	Location: Kurihama
Observer:	Shift:
Projects Data: No	Take Ownership?: No
Plant Site:	Supplier:
Additional CC email:	
Description: <原子力防災 hoan D 改善> 令和4年度 事業者防災訓練 訓練課題対応 令和4年度の事業者防災訓練について3/9に実施結果報告書の届出を行った。本訓練の中で抽出された課題への対応について添付にまとめる。	
Immediate/Correction Action: 約束した課題対応についてCR登録を行い改善を図る。	
Date of Immediate/ Correction Action: 13-Mar-2023	
Additional Information: Receive CR Review email: No	
R4訓練課題対応 - 面談後修正.pdf	

CRG Details

Internal / External: Internal	Responsible Manager: [Redacted]
Issue Type: Improvement or Non-Concern	Comments: Add Comments/Email Options
Due Date:	Regulatory: No
Date of Occurrence:	Part 21: No
Other Regulatory Impact: <i>Select All that apply</i>	Nuclear IROFS: No
Priority: D	Product Safety: No
Cause Code:	Severity Code: <i>Required for closing this Condition Report</i> No Defect
Trend Code: <i>Required for closing this Condition Report</i> 16 - Continuous Improvement	EHS Code: Not Applicable

Add/Edit Actions

Action #1 Status: Completed & Approved

Action Type: Preventive Action	Action Due Date: 12-Apr-2023
Action Owner: [Redacted]	Action Description: Review the Condition Report and add actions to the CR, as needed. If no further actions are needed, document your response in the completion field for this action. IF AT ANY TIME, it is determined that this CR is more significant and the CR Priority needs to be upgraded, then work with the CRG to update
Action Reminder Days: 15,3,1	Action Completion Date: 07-Apr-2023
Action Completion Comments:	

改善事項を確認し、担当に割り振りを行った。各アクションに基づき改善を進めていく。

Action Approved/Rejected:

Approved

Action Approved By & Date:

on 07-Apr-2023

Action Approver Comments:

Action auto approved

Notes:

View Update History

Action #2 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days:

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: * [Request Due date extension](#)

15-Nov-2023

Action Description: *

EAL判断をいつ、だれが行うのか、どのような流れで15条認定されるかなど、原子力災害発生時の判断プロセス及びEAL判断という言葉の重要性をすべての防災要員が理解できるように毎年の原子力防災教育の中で教育を実施する。また、EALの「確認（検出）時刻」及び「判断時刻」をきちんと区別してERCへ報告できる仕組みやチェック体制を検討し、原子力災害対応マニュアルに定める。

Action Completion Date:

Action #3 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days:

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: * [Request Due date extension](#)

31-Oct-2023

Action Description: *

<具体的な支援内容の検討> 支援の内容について協定を結んでいる事業者と共有し、総合訓練で支援要請等の訓練を行う。なお、支援活動には時間を要することが考えられるため、支援活動までの間に実施する事業者対応の内容（モニタリング計画等）についても合わせて検討を行う。

Action Completion Date:

Action #4 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days:

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: *

31-Oct-2023

Action Description: *

<モニタリングの位置、トレンド、進捗の共有> モニタリングの時系列データ、測定位置及び進捗状況など情報共有の方法を検討し、原子力災害対応マニュアルに定める。これらについて要素訓練等で技量の向上を図る。（例 測定の進捗が分かるような時系列データや測定位置関係が分かるデータシートの活用など）

Action Completion Date:

Action #5 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days:

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: *

31-Oct-2023

Action Description: *

<戦略シート及びモニタリング計画シートの記載> 以下の様式の見直しを行い原子力災害対応マニュアルに定める。「開始日時」、「終了日時」として日付もしっかりと記載できる様式とする。関連する項目は戦略シートとモニタリング計画シートで相互参照できる様式とする。また、戦略シートを作成する班とモニタリング計画シートを作成する班の情報共有を補助する体制を検討する。これらについて正確に作成できることを要素訓練等で確認する。

Action Completion Date:

Action #6 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ④

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: *

31-Oct-2023

Action Description: *

加工 施設すべての情報を把握するために施設状況シートは必要であるが、事象進展につながる異常を素早く理解し、効率的に説明できる様式となるよう検討し、警報発報など重要な情報を初期段階でピックアップして伝えられるように要素訓練等で技量の向上を図る。

Action Completion Date:

Action #7 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ④

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: *

31-Oct-2023

Action Description: *

ERCに送付するFAXは管理しやすいように「To ERC①」のように送付順に通し番号を記載する。

Action Completion Date:

Action #8 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ④

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: * Request Due date extension

31-Oct-2023

Action Description: *

<構内滞在者の安否確認の効率化> 集計機器に不具合が生じた場合も想定して、手作業での効率的な照合を行える体制と仕組みについて検討を行うとともに、新しい社員証のシステムの導入やRFIDを利用した電子的な点呼など新規の設備導入も含めて効率的な安否確認を検討していく。

Action Completion Date:

Action #9 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ④

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

View Update History

Action Due Date: *

31-Oct-2023

Action Description: *

<広報資料に必要な情報の検討> どの段階でどのような情報を添付するか整理し、原子力災害対応マニュアルに定め、要素訓練等で技量の向上を図る。

Action Completion Date:

Action #10 Status: Open

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ④

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

Action Due Date: * Request Due date extension

31-Oct-2023

Action Description: *

<社内放送方法の改善> 情報を集約後、速やかに社内放送を行うことができる体制を検討する。また、放送する内容については、主に原子力災害に関する重要な情報のみを構内の避難者に向けて発信できるように、予め放送内容を整理するなどして改善を図る。

Action Completion Date:

[+ View Update History](#)

Action #11 ✔ Status: Completed & Approved

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ⓘ

15,3,1

Action Completion Comments:

横須賀南消防との合同訓練時に防火戸でもホースを通すためにロープやストッパーで固定することを確認した。

Action Approved/Rejected:

Approved ✔

Action Approver Comments: 

Notes:

> [消防 pdf](#)

[+ View Update History](#)

Action Due Date: *

30-Apr-2023

Action Description: *

<消火活動の技術向上> 屋内進入にあたって、公設消防はホースライン上の扉をどうしているか、訓練の場合にどうするべきか確認し、対応を検討する。

Action Completion Date:

10-Apr-2023

Action Approved By & Date:

[REDACTED] on 10-Apr-2023

Action #12 🔴 Status: Open 

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ⓘ

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

[+ View Update History](#)

Action Due Date: * [Request Due date extension](#)

31-Oct-2023

Action Description: *

<本部内でのクロ/ロ情報の共有> 本部の正面スクリーンのプロジェクターを使用して常時クロ/ロを表示するなど、全体で情報を共有し活用できる方法を検討する。

Action Completion Date:

Action #13 🔴 Status: Open 

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ⓘ

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

[+ View Update History](#)

Action Due Date: * [Request Due date extension](#)

31-Oct-2023

Action Description: *

<シナリオスキップ時の情報整理> 訓練目的に対して事象収束まで必要ない場合は、不要なスキップを行わないこととする。また、事象収束まで含めて訓練を行う場合はスキップを入れるものとし、その場合にはスキップ間の情報整理を事務局が主導し、全体で情報共有してから訓練を再開するための時間を30分程度設けることとする。

Action Completion Date:

Action #14 ✔ Status: Completed & Approved

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

Action Reminder Days: ⓘ

15,3,1

Action Completion Comments:

注意報下等での参集の考え方を整理し、参集できない場合のその間の対策も含めて検討を行った。また、検討した結果をSBP0390000-00022「防災本部実施規程」、SBP0280000-00004「異常 非常事象措置規程」他の規程書、手順書に反映し、改訂した。

Action Approved/Rejected:

Approved ✔

Action Approver Comments: 

Notes:

> [QBPO040000-00004_R38 添付11_CR41927対応 pdf](#)

[+ View Update History](#)

Action Due Date: *

31-Oct-2023

Action Description: *

<防災要員参集ルールの整理> 注意報下等での参集の考え方を整理し、参集できない場合のその間の対策も含めて検討を行う。

Action Completion Date:

10-Oct-2023

Action Approved By & Date:

[REDACTED] on 16-Oct-2023

Action #15 🔴 Status: Open 

Action Type: *

Preventive Action

Action Owner: *

[Redacted]

Action Reminder Days: ⓘ

15,3,1

Action Completion Comments:

Notes:

 [View Update History](#)

 [View Request History](#)

Action Due Date: * [Request Due date extension](#)

31-Oct-2023

Action Description: *

<管理区域内の活動訓練> 要素訓練等で可能な実動訓練を計画し、現場能力の向上を図る。

Action Completion Date: